

～8歳の少女の人生を変えた原爆～



被爆者岡田恵美子さんの 被爆体験証言と 平和への祈り

& スカイツによるスティーブン・リーパー氏との交流

1945年8月6日に投下された原子爆弾によって、多くの尊い命が奪われ、生き残った人々の人生を変えました。その一人、当時8歳の少女だった岡田恵美子さんから貴重な被爆体験証言、核廃絶と平和への願いを直接お聴きします。続いて平和文化センター前理事長のスティーブン・リーパー氏（米国滞在中）とスカイツで繋がります。リーパー氏からのメッセージ、参加者との意見交流を行うことで、我々の平和への想いを、核なき世界実現のための行動にどう繋げていくか、その道筋を一緒に考えたいと思います。

日時：2019年6月29日(土) 13:30～15:30 (13:00開場)

会場：エソール広島（おりづるタワー10階）

広島市中区大手町一丁目2番1号 おりづるタワー10階

☆会場への入り方：

①おりづるタワー南側入口(道路)	①②の2か所に担当者がおりますので、お声をかけてください。
②おりづるタワー館内・受付の奥	

定員：100名（直接会場においでください） 費用：無料

＜岡田恵美子さんプロフィール＞

1945年国民学校3年生の8歳のとき、尾長町の自宅（爆心地から2.8km）で被爆。女学校1年生の12歳の姉は、学徒動員として建物疎開作業中に被爆し行方不明。今から約33年前、「ヒロシマ」に寄り添ったアメリカ人バーバラ・レイノルズさんに出会ったことで、本格的に証言活動を開始。世界の国々をまわり、被爆証言をし、「命の大切さ」「子どもは世界の宝」「平和とは一人一人の対話から作っていくものである」と訴えている。現在、証言活動と共に、核兵器廃絶に向けて「ヒバクシャ国際署名」の活動をしている。

= お知らせ =

「ドキュメンタリー映画“アトミック・マム”と
岡田恵美子さんのお話」

日時：2019年7月14日(日)13:30～15:30

場所：合人社ウェンディひとまちプラザ北棟6階
マルチメディアスタジオ

☆MTシルヴィア監督とスカイツで交流予定☆

主催：被爆体験を継承する会

共催：(公財)広島県男女共同参画財団

後援：広島市、(公財)広島平和文化センター、中国新聞
広島県教育委員会、広島市教育委員会、

協力：広島市男女共同参画推進センター

問合せ：090-8194-0605